令和３年度指定管理鳥獣捕獲等事業の捕獲結果（県南部区域）

千葉県ではニホンジカ（以下、シカ）の分布が拡大傾向にあり、それに伴い捕獲数も年々増加しているものの、依然として農作物被害は深刻な状況にある。このため、第二種特定鳥獣管理計画を策定し、平成 27 年度から指定管理鳥獣捕獲等事業（以下、指定管理事業）を実施している。

令和 3 年度においてもシカの指定管理事業実施計画を策定し、今年度からは、高密度地域のうち有害鳥獣捕獲で従事者が入りにくく、捕獲がほとんど実施されていない奥山地域においても、生息密度の低下を図ることを目的に捕獲を実施した。

１．捕獲の実施状況

捕獲の実施区域は、東大千葉演習林（君津市）の保護管理ユニット（以下、ユニット）T1 及び T2 とした（図 1）。

- 委 託 先：（一社）千葉県猟友会
- 委託期間：令和 3 年 9 月 7 日～令和 4 年 1 月 14 日
- 実施区域：君津市（T1、T2）
- わな設置期間：令和 3 年 10 月 6 日～11 月 30 日（T1）
  令和 3 年 10 月 7 日～12 月 4 日（T2）
- 目標捕獲数及び捕獲方法：50 頭（くくりわな）

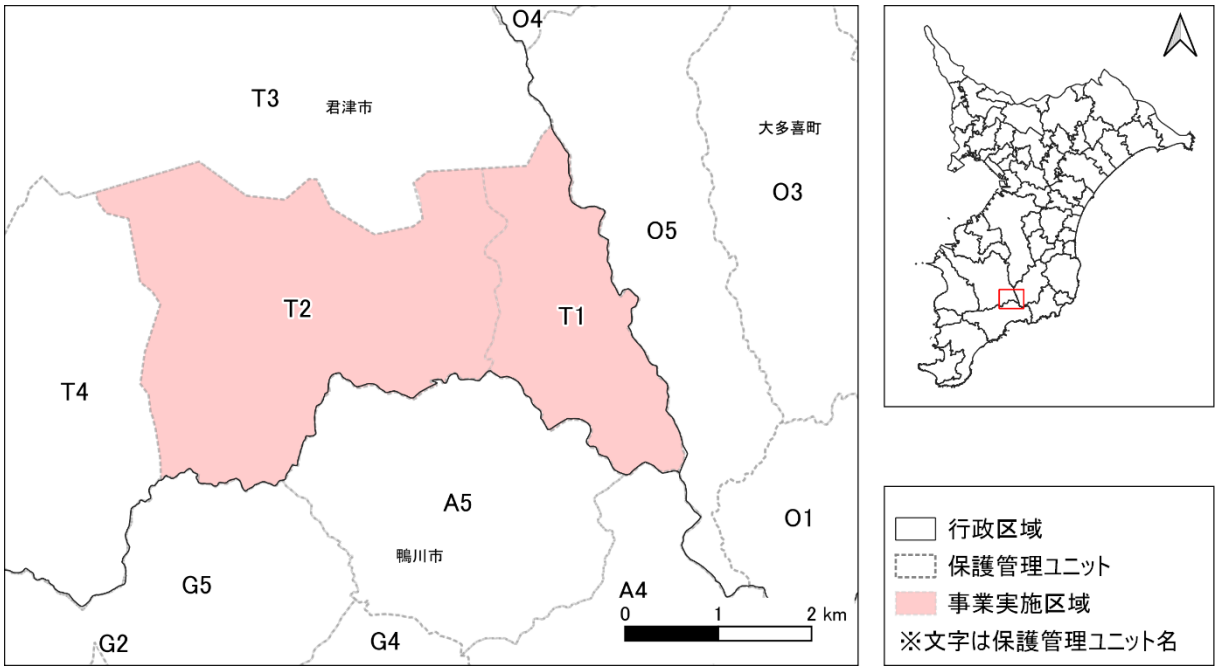

図 1　シカの指定管理事業実施区域（県南部区域）

２．捕獲の実施結果

２－１．事業における捕獲結果

表 1 に捕獲数の内訳を、表 2 に捕獲作業及び捕獲状況を、表 3 に月ごとの捕獲作業及び捕獲状況を示す。

- 令和 3 年度は目標 50 頭に対し、50 頭を捕獲した。そのうち、成獣メスが過半数を占めた。
- わな日が 2250 日に対して、捕獲数が 50 頭で、CPUE は 22.22 となった。
- 月ごとの比較では、CPUE は捕獲初期の 10 月に高く、その後は急激に減少した。12 月はわな日が少ないこともあり、捕獲には至らなかった。

表 1　指定管理事業における捕獲数の内訳（県南部区域）

		R3
成獣	メス	29 (58.0)
	オス	14 (28.0)
幼獣	メス	4 (8.0)
	オス	3 (6.0)
合計		50

※後足長が 30cm 以上の個体を成獣とした

※括弧内は全捕獲数に占める割合（%）

表 2　わな捕獲の作業及び捕獲状況

	R3
わな数	40
わな日	2,250
空はじき	40
空はじき率	17.78
目標捕獲数	50
捕獲数	50
成獣メス割合（%）	58.0
幼獣割合（%）	14.0
CPUE	22.22

※わな日はわな数×わな稼働日数により算出
※CPUE は（捕獲数/わな日）×1000
※空はじき率は（空はじき/わな日）×1000

表 3　月ごとのわな捕獲の作業及び捕獲状況

	10月	11月	12月	合計
わな日	970	1,200	80	2,250
捕獲数	37	13	0	50
成獣メス割合（%）	56.8	61.5	－	58.0
幼獣割合（%）	8.1	30.8	－	14.0
CPUE	38.14	10.83	0.00	22.22

２－２．令和 3 年度事業の捕獲結果

表 4、図 2 にユニットごとの捕獲結果を示す。

- 捕獲を実施した 2 ユニットについて、わな日は概ね同程度であった。
- 捕獲数は T2 で多く、T1 の約 1.8 倍であった。
- 成獣メスの割合は、いずれも過半数を超えた。
- 幼獣の割合は、いずれも 2 割以下であったが、特に T1 で低かった。

また、図 3 に 1km メッシュごとの捕獲結果を示す。

- 1km メッシュごとのわな日は、58～633 日の範囲となり、約 10 倍の差があった。
- 捕獲数は、区域の北西部のメッシュで多い傾向であった。
- 成獣メスの割合は、区域の東部で高い値であった。
- 幼獣割合は、全体的に低く、捕獲数と同様に区域の北西部で高くなった。

表 4　ユニットごとの捕獲結果

ユニット	市町村	わな日	捕獲数	成獣メス割合	幼獣割合
T1	君津市	1,158	18	66.7	5.6
T2	君津市	1,092	32	53.1	18.8

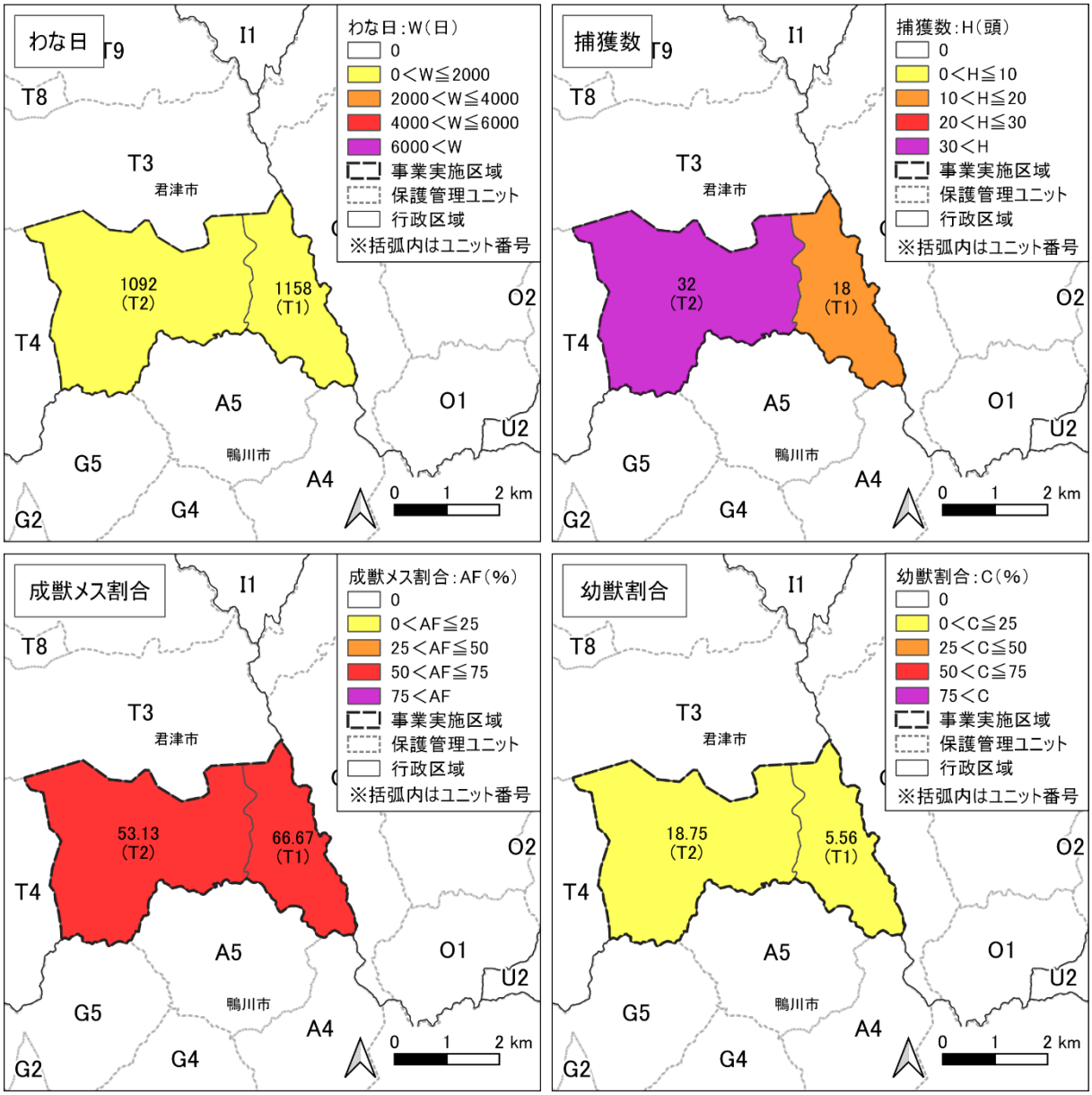

図 2　ユニットごとの捕獲結果

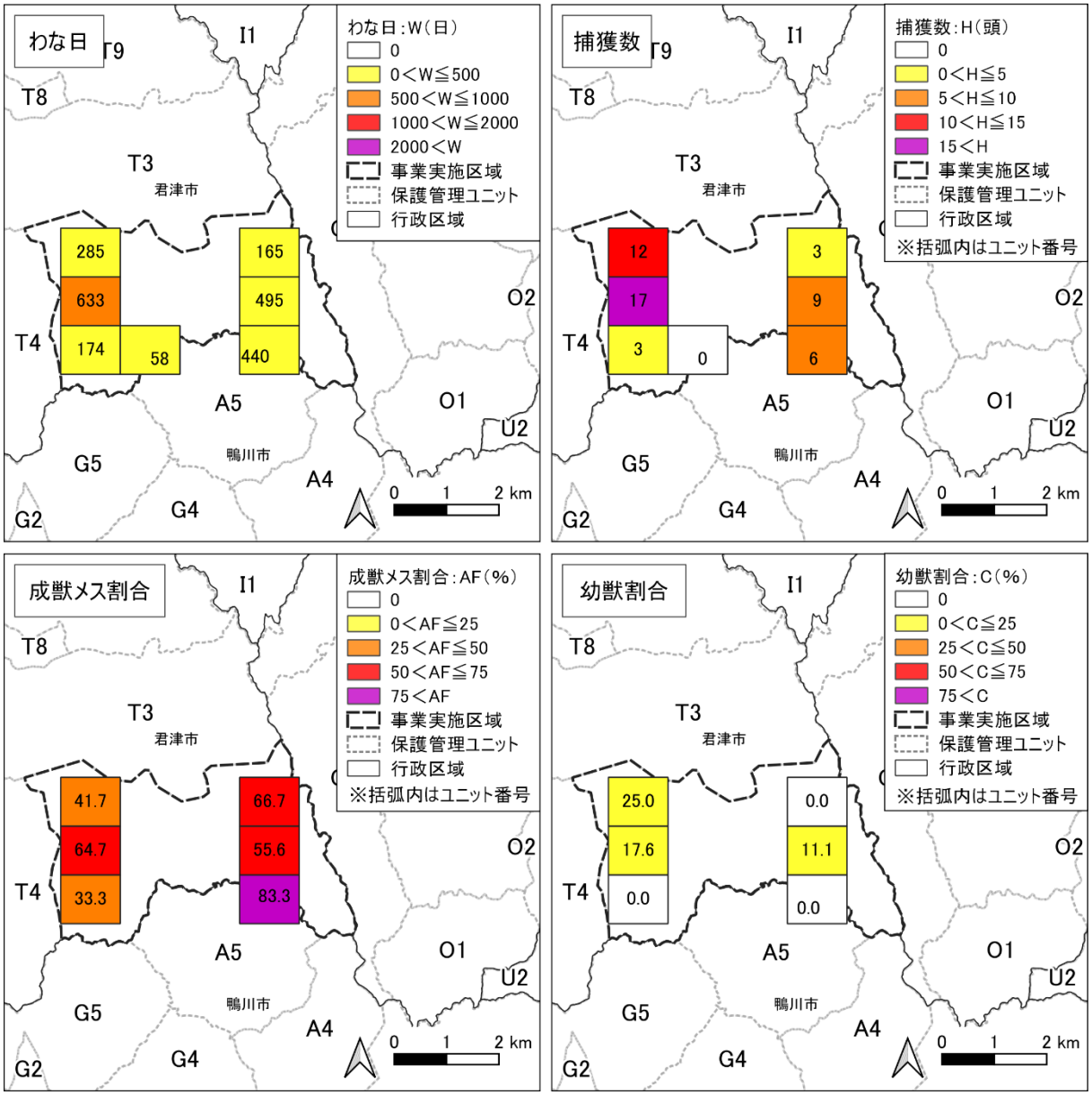

図 3　1km メッシュごとの捕獲結果